

教育データの利活用について

昨年度の校長室だより第40号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/64776/385717.pdf> の再掲になります。

渋谷区モデルのタブレットPCを教育活動の中で活用していくことで様々なデータが蓄積されています。いわゆる「教育データ」と言われるものです。（「教育ビッグデータ」とも言いますが・・・まだまだBIGとは・・・）

この「教育データ」を有効活用することで、きめ細かな指導・支援等が実現するのではないかと・・・と期待のできる「素敵なデータ」があります。そこで、渋谷区では、これらのデータ等を活用して、教員が一人一人の生徒をデータ面から分析・支援することができるように、これまで個別に把握していた複数のデータを集約・整理する「教育ダッシュボード」が整備されています。

この「教育ダッシュボード」を教員が利活用することで、データから「一人一人の生徒の状況を多面的に把握する」ことが可能となり、学習指導・生徒指導・学級経営・学校運営など教育活動の各場面において、一人一人の力を最大限に引き出すためのきめ細かい支援が可能になると考えています。これまで教員個々の「感覚」を中心に捉えていた生徒の状況を、全教員で重層的に「データ」での確認をすることで今後の教育の可能性が広がるのではないかとということです。

タブレットPCを積極的に活用して、学習者主体の「新たな学び」を構築すると同時に、教員が子供たちについて「感覚」だけではなく「確かなデータ」をベースに向き合えることになると考えています。

今回、保護者の皆様に、学校における教育データの利活用についてご理解をいただけるように、別紙「子供たちへのきめ細やかな指導・支援に生かすための教育データの利活用について」として渋谷区教育委員会がまとめ、Q&Aの形式にしたものを本校Webサイトに掲載しましたので、ご確認ください。<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/76469/474824.pdf>

現在、この分野では文部科学省「教育データの利活用に関する有識者会議」により様々な検討が進められています。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/158/index.html

まだまだ、完璧に教育データの利活用ができる「教育ダッシュボード」ではありませんが、本校では全校体制で、安全・安心面に配慮しながら利活用に取り組んでいきます。



教育ダッシュボードの画面例

表示内容・レイアウトは、随時追加・改善していく予定

現在集約されているデータ

- ・ 出欠状況、保健室の来室記録
- ・ 学校生活アンケート
- ・ タブレットの利用履歴 (Web 検索キーワード・アクセスログなど)
- ・ タブレットのLTE回線利用量
- ・ HyperQU テスト (よりよい学校生活と友づくりのためのアンケート)
- ・ 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査果 (体力テスト) 等

これまでバラバラであったデータが集約され、画面上に可視化されます。

(教員が生体認証を含む多段階認証でアクセスした渋谷モデルの端末のみで利用可)